

農業環境技術研究所年報

平成18年度

目次

はしがき

基本理念・行動憲章・環境憲章

I. 主な研究トピック	1
1. 2006年版 IPCC ガイドラインに採用された水田から発生するメタンの新しい算定方法	1
2. 「水環境保全のための農業環境モニタリングマニュアル改訂版」の発行	2
3. イムノクロマトアッセイを用いた玄米等のカドミウム濃度簡易測定	4
4. ディルドリンを吸収しにくいカボチャ台木を用いてキュウリ果実中の残留濃度を低減	6
5. 特定外来生物カワヒバリガイは霞ヶ浦湖岸の約半分まで分布を広げている	7
6. ほ場で遺伝子組換えダイズとツルマメが交雑する可能性は低い	9
7. トンボの生息環境を守るためのため池のあり方	10
8. 交信攪乱剤（性フェロモン剤）に抵抗を示すチャノコカクモンハマキ	12
9. 大気 CO ₂ 増加による水稻の群落光合成の促進は葉室素濃度に依存する	14
10. 衛星データを活用してメコンデルタの洪水と稲作の変化をみる	15
11. 日本産ヒョウタンカスミカメ族（カメムシ目）の Web での図説検索表	17
II. 研究実施の概要	19
A 農業環境のリスクの評価及び管理技術の開発	19
B 自然循環機能の発揮に向けた農業生態系の構造・機能の解明と管理技術の開発	20
C 農業生態系の機能の解明を支える基盤的研究	22
III. 平成18年度研究課題	24
1. 受託事業一覧	24
2. 法人プロジェクト研究課題一覧	25
IV. 研究成果の発表と広報	26
1. 研究成果	26
(1) 研究成果情報	26
(2) 査読論文一覧	27
2. 広 報	40
(1) 農業環境技術研究所が開催した研究会・シンポジウム	40
(2) 刊行物一覧	42
(3) 情報：農業と環境（No.72～83）	42
(4) マスコミへの情報提供と報道	46
1) プレスリリース	46
2) 個別取材一覧	47
3) 新聞記事	48

4) テレビ・ラジオ等	50
3. 一般向け行事及び来訪者	51
V. 研究・技術協力	52
1. 共同研究	52
(1) 国内	52
(2) 国外	52
2. 行政等からの要請による委員会等への専門家の派遣一覧	52
3. 海外機関との連携	57
4. 受入研究員等一覧	58
5. 大学との連携	62
6. 依頼同定、分析及び技術相談	63
VI. 総務	64
1. 機構	64
2. 人事	64
(1) 役職員数	64
(2) 人材育成に係る研修	65
(3) 受賞・表彰	66
(4) 叙勲	66
3. 会計	67
(1) 財務諸表	67
(2) 決算報告書	75
(3) 予算、収支計画及び資金計画	75
(4) 特許等一覧表	80
4. 図書	82